

平成30年度 自己評価アンケートまとめ  
 社会福祉法人ほどがや ゆめっこらぶ

職員による自己評価(抜粋)

長年利用している方が多く、スタッフの変更に戸惑いや不安を抱えているご父兄が多い  
 次年度の体勢への不安を感じている  
 2フロアー(3F、4F)構成で、活動や年齢によって活動スペースを分けることが出来、10名定員の中でも手狭さを感じないスペースがある。  
 他放デイとの関わりはほとんど無いが、相談やガイヘルなど他事業との関わりは多い。  
 避難訓練、食料、水の備蓄はできている。

保護者による評価(抜粋)

スタッフの入れ替えにより対応の内容に、不明な点や子どもへの声かけに疑問を感じるがあった。  
 スタッフが新しくなるが、こどもが引き続き楽しく通えることを希望する。  
 キッズの事業所閉鎖に関して事業所閉鎖まで2か月前の周知とは、利用者を欺いていると感じる。  
 競合他社が増えたとはいえなぜ利用者不足を阻止できなかったのか。一方で利用者や家族との接点を大切にしていることは評価する。  
 今後事業所閉鎖が起きないようにしてほしい。



事業所内での分析

<p>【共通点】                  スタッフの入れ替えによる不安感はい互いに持っている</p>	<p>【相違点】                  災害時の備蓄や災害マニュアルの認識について事業所としてはできていると認識しているが、保護者からはできていないとの認識がみられる。</p>
---	--

事業所の強み

事業所の改善点

<p>室内スペースの広さ。                  活動内容の幅の広さ。                  地域との繋がりを意識して、外活動を積極的に行なっている。                  運営母体が社会福祉法人で他事業も展開しており、特に生活介護の現状を詳しく伝えることができる。                  あくまで子どもを第一に考え、感染症時の利用方法のマニュアルを徹底している。</p>	<p>バリアフリー化。                  室内活動の充実、年齢に応じた活動提供。                  情報の発信。                  職員の保護者対応、保護者が来たときの態度。しゃべり方。                  職員のスキル不足。</p>
--	--

事業所の改善への取り組み

本年度はスタッフの入れ替えによる体制の変更や新しく受け入れる他児に対するご父兄の不安感が多く聞かれている。今後も今までと変わらず支援させていただく事を伝えと共に、変わらぬ支援を行う事、またより良い形での支援を提供できるように改善することを検討し、ご家族へ提示できるようにしていく。  
 ご家族に災害時対応や備蓄についての周知を行なうようにする。  
 新規利用希望者の問い合わせが見られず、。学齢期前の父兄に対しての情報発信の必要性を感じる。また情報発信の方法についても検討が必要である。  
 職員の質の向上に関しても、外部研修も検討しつつ、職員間課題検討できる機会を設け互いのスキル向上をめざす。

アンケート配布数	アンケート回収数	回収率
15	11	73.3%